

## I 事業の概要

### 1 事業及び報告書の目的

#### (1) 事業の目的

東日本大震災の被災地においては、長引く仮設住宅での暮らしや生活不安などの影響によるストレスの高まりなどから、女性が様々な不安や悩みを抱えることや、女性に対する暴力が生じることなどが懸念されることから、平成23年5月10日から岩手県において、また同年9月1日から宮城県において、更には平成24年2月11日から福島県を加えた計3県で、地方公共団体及び民間団体等と共働で、全国の専門性の高い相談員の協力を得て、女性の悩み・暴力相談窓口を開設し、電話及び面接等により相談を受け付けるとともに、相談員が仮設住宅等を訪問し、女性から直接相談を受け付けることなどにより、被災地において女性が安心して相談できる相談事業を実施中である。

平成25年度においては、岩手県に2拠点、宮城県に2拠点、福島県に1拠点の計5つの相談拠点を設置し、広く相談を受け付けるとともに、全国から派遣された相談員によるスーパービジョンを継続実施し、地元相談員の人材育成を図ることとした。

発災から2年が経過した平成24年度末においても、毎月400件を超える相談が寄せられており、依然として女性が悩みを抱える状況が見られ、その相談内容もより複雑化してきていることから、引き続き内閣府において、地方公共団体や民間団体等と共働し、女性の悩み・暴力相談事業を平成26年3月31日（月）まで継続実施した。

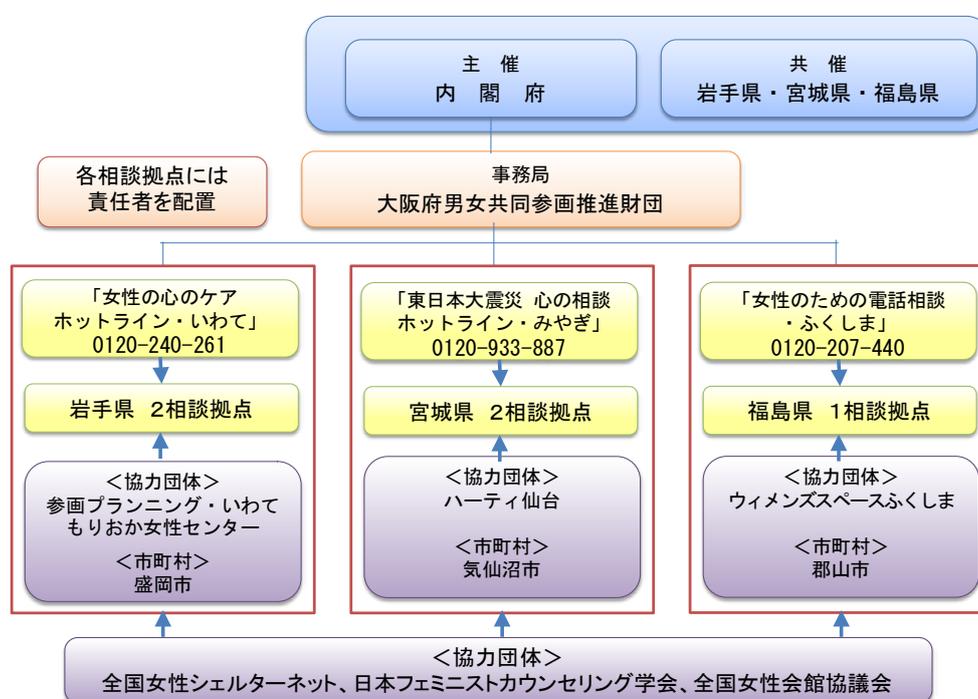
#### (2) 本報告書の目的

「東日本大震災における女性の悩み・暴力相談事業」については、平成26年4月1日以降も継続することとし、現在も岩手県、宮城県、福島県の3県で相談を受け付けている。そこで、今後の相談事業に活用するとともに、他の都道府県の参考となる記録を作成するため、平成23年度、平成24年度に引き続き、平成25年度に実施した相談事業において、相談員が受けた相談内容について集計した。

## 2 事業の運営体制

- (1) 主催 内閣府
- (2) 共催 岩手県・宮城県・福島県
- (3) 協力 NPO 法人参画プランニング・いわて、もりおか女性センター、盛岡市  
NPO 法人ハーティ仙台、気仙沼市  
NPO 法人ウィメンズスペースふくしま、郡山市  
NPO 法人全国女性シェルターネット、NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会、NPO 法人全国女性会館協議会
- (4) 事務局 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

実施体制図



### 3 相談受付期間

平成 25 年 4 月 1 日（月）から平成 26 年 3 月 31 日（月）

### 4 相談の対象

- ・震災に関連する女性の悩み全般に関する相談
- ・配偶者等からの暴力や性暴力などに関する相談

### 5 電話の名称及び番号

#### (1) 岩手県

名称：「女性の心のケア ホットライン・いわて」

番号：0120-240-261（岩手県内限定フリーコール）

#### (2) 宮城県

名称：「東日本大震災 心の相談 ホットライン・みやぎ」

番号：0120-933-887（宮城県内限定フリーコール）

#### (3) 福島県

名称：「女性のための電話相談 ふくしま」

番号：0120-207-440（全国フリーコール）

### 6 相談受付曜日・時間

県名	受付曜日・時間
岩手県	月～日 午前 10 時～午後 5 時
宮城県	月～金（祝除く） 午前 9 時～午後 4 時 45 分
福島県	月～金（祝除く） 午前 10 時～午後 5 時

### 7 電話システム

#### (1) 基本的なシステム

「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」の実施にあたっては、KDDI 株式会社と契約し、岩手県・宮城県内においては、各県内から発信された固定電話、公衆電話、携帯電話、PHS のみ受け付ける発信エリア限定フリーコールシステム（通話料無料）を採用した。福島県の電話相談においては、日本全国から発信された固定電話、公衆電話、携帯電話、PHS を受け付けるフリーコールシステム（通話料無料）を採用した。

## (2) システムの見直し

宮城県においては、宮城県庁内拠点に男性相談員が勤務している金曜日に、着信時、相談者が相談員の性別で回線を選べるよう設定した。

## 8 面接相談

以下の相談拠点においては、相談者の希望に応じて、面接相談を行った。

県名	市町村名	受付曜日・時間
岩手県	盛岡市	月・木・土 午前10時～午後5時
宮城県	—	第1・3水曜日（祝除く） 午前11時～午後5時
	気仙沼市	火～木（祝除く） 午前9時～午後4時45分 木曜日（祝除く） 午前10時～午後4時
福島県	郡山市	月～金（祝除く） 午前10時～午後5時

## 9 グループ活動

仮設住宅の集会所等において、被災者がさまざまな思いを語り合ったり、手仕事などの作業を行いながら、悩みや不安を打ち明け合ったりする相談グループ活動を120件行った。

	活動内容	合計	
		件数	%
岩手県	お茶っ子飲み会	87	72.5
宮城県	お茶会など	9	7.5
福島県	ママ友さろん、おしゃべりカフェ	24	20.0
合計		120	100.0

## 10 日本司法支援センター（法テラス）との協定

平成23年度に締結した日本司法支援センター（法テラス）との協定を延長し、法テラス南三陸臨時出張所において東日本大震災被災地における「女性の悩みごと相談」を共同実施した。出張所での面接及び仮設住宅訪問により50件の相談を受け付けた。

## II 事業の実施体制

### 1 相談拠点と相談員配置

岩手県に2拠点、宮城県に2拠点、福島県に1拠点、計5つの相談拠点を設置した。

相談員は、全国の協力団体や被災地の地方公共団体・協力団体等と協力し、地元相談員31名、女性の悩み相談や暴力被害者支援を行っている全国のNPOや男女共同参画センターなどの相談員のべ143名を派遣し、被災者が安心して相談ができる相談サービスを提供した。

県名	市町村名	相談員数		計
		地元相談員	派遣相談員	
岩手県	盛岡市①	5	—	5
	盛岡市②	—	42	42
	小計	5	42	47
宮城県	—	9	—	9
	気仙沼市	2	51	53
	小計	11	51	62
福島県	郡山市	15	50	65
	小計	15	50	65
合計		31	143	174

### 2 社会資源リスト

本事業の実施にあたっては、国や関係地方公共団体が実施している被災者のこころのケアや孤立防止に関する支援事業、被災者への支援制度等に関する情報を収集するとともに、男女共同参画センターや配偶者暴力相談支援センター、法テラス、民間支援団体などの情報を取りまとめ、相談拠点に寄せられた相談内容に応じて、相談員が相談者に紹介できる社会資源台帳を作成し、各相談拠点に設置した。

また、相談員専用のホームページ（パスワードを設定）を作成し、社会資源台帳の情報を掲載し、相談拠点に設置したパソコン等から閲覧できるようにしている。

今年度は、「子ども虐待対応の手引き（平成25年8月改正版 厚生労働省）」などの各種情報を社会資源台帳に反映させた。

### 3 スーパービジョン

対応の困難な案件が電話相談に寄せられ、その対応について相談員から相談があった場合には、必要に応じてスーパービジョンを行った。また、地域における災害時の女性支援や相談対応の基盤強化を目的として、地元の女性支援や女性相談に携わる者を対象に講義を行うなどの形でも実施した。

#### (1) スーパービジョン実施回数

	岩手県	宮城県	福島県	合計
事例検討	0回	1回	33回	34回
講義	5回	8回	11回	24回
<b>実施回数計</b>	<b>5回</b>	<b>9回</b>	<b>44回</b>	<b>58回</b>

#### (2) 講義

県名	主な講義テーマ
岩手県	生活支援者の相談の受け方と対応
宮城県	防災・災害復興における女性の視点
	震災相談における男女共同参画促進（女性問題解決）の視点とは
	相談を受ける上での留意点
	心をつかむ会話術～コミュニケーションスキルUP講座
	傾聴のススメ～傾聴力を身に付けて、職場・家庭・地域で生かそう～
人を元気に！言葉を届ける 心を届ける ～自分を大切にして、コミュニケーションしていますか？～	
福島県	パワーアップトレーニングから女性のエンパワメントについて学ぶ
	被災地女性相談の受け方～面接相談の留意点
	相談者の安全確保や危機管理、対応について
	ケース概要作成にあたっての要点、注意点の再確認
	複数の主訴がある場合のケース展開についての解説
	「女性のための電話相談ふくしま」での実践を今後の活動にどのように活かしていくか
	相談員の二次受傷とそのケアについて

	感情的・攻撃的な相談者への対応について
	相談事業を支える人材育成・研修のあり方について
	複数回架電のある女性の対応について
	PTSDと心理教育

#### 4 広報

##### (1) 携帯用カード (両面印刷)

名刺サイズの携帯用カードを各県 10 万枚作成し、各相談拠点、県内各市町村の窓口、仮設住宅や集会所に配置した。また県や市で独自にチラシ等を作成・印刷し、周知を図った。カードのデザインは、次のとおり。

<p>岩手県・表面</p> <p>内閣府・岩手県</p> <p>話してみませんか。</p> <p>いっしょに、考えましょう。</p> <p>女性の心のケアホットライン・いわて</p> <p>通話料無料 岩手県内限定</p> <p><b>0120-240-261</b></p> <p>相談時間 月～日 10時～17時</p> <p>協力：NPO法人 参画プランニング・いわて／もりおか女性センター</p>	<p>宮城県・表面</p> <p>内閣府・宮城県</p> <p>話してみませんか。</p> <p>いっしょに、考えましょう。</p> <p>東日本大震災心の相談 ホットライン・みやぎ</p> <p>通話料無料 宮城県内限定</p> <p><b>0120-933-887</b></p> <p>相談時間 月～金 9時～16時45分(祝日除く)</p> <p>協力：NPO法人 ハーティ仙台／気仙沼市</p>
<p>福島県・表面</p> <p>内閣府・福島県</p> <p>話してみませんか。</p> <p>いっしょに、考えましょう。</p> <p>女性のための電話相談 ふくしま</p> <p>通話料無料 全国共通番号</p> <p><b>0120-207-440</b></p> <p>相談時間 月～金(祝日除く) 10時～17時</p> <p>協力：NPO法人ウィメンズスペースふくしま／郡山市</p>	<p>3 県共通・裏面</p> <p>一人で悩んでいませんか？</p> <p>眠れない 孤独感 生活 DV 配偶者や 家族 パートナーからの暴力 人間関係 仕事 将来の不安</p> <p>被災した方はもちろん、被災者を支援している方からのご相談にも対応します。 秘密は厳守しますので、どうぞ安心してご相談ください。 専門の相談員が担当しています。(匿名でご相談いただけます)</p>

## (2) ホームページの作成

URL: <http://www.h-nihonh.jp/>

各県・関係市・地元団体・協力団体・全国の協力団体のホームページにリンクを設定した。

## (3) 新聞等への掲載

- ・平成 25 年 4 月 11 日 読売新聞
- ・平成 25 年 4 月 17 日 朝日新聞福島版
- ・平成 25 年 5 月 23 日、11 月 3 日・9 日・12 日・16 日・30 日、12 月 4 日・27 日・28 日・30 日 岩手日報「東日本大震災くらし伝言板」
- ・平成 25 年 6 月 16 日 河北新報
- ・平成 25 年 6 月 16 日 福島民報
- ・平成 25 年 8 月 14 日 岩手日報「東日本大震災くらし伝言板」
- ・平成 25 年 9 月 15 日 復興支援情報誌「サポセンかわら版」vol. 41
- ・平成 26 年 2 月 13 日 福島民友

## (4) その他

政府広報

被災地向けテレビ及びラジオ番組の「政府からのお知らせ」で周知を行った。

- ・放映テレビ局：IBC 岩手、テレビ岩手、宮城テレビ、仙台放送、テレビユー福島、福島放送
- ・放映ラジオ局：IBC 岩手、東北放送、ラジオ福島、他